

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	地域に密着した商業展開への支援	施策コード	21101	施策主管部課	環境経済部 商業観光課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	商業の振興			関係課		
	(3) 節の目的	地域に密着した商業の活性化をすすめるとともに、新たな商業展開を支援します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	地域に密着した商業の活性化を図るため、個店の専門性の強化や我孫子市ふるさと産品の開発などによる特色ある商店づくりや、買い物しやすい環境づくりなど、商業者が市民、農業者などのさまざまな主体と連携しながら、消費者ニーズにあった新たな商業展開が行えるよう支援します。また、我孫子の観光資源をいかした新たな商業の振興につながる取り組みを支援します。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市内商業者				
		どういう状態に	地域に密着した商業展開が図られている				
(6) 施策実施上の課題と対応	・ 施策目標を達成するための新たな事業を立案・実施する必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 我孫子市ふるさと産品の品数	ふるさと産品を普及することにより、市内事業者の活性化、我孫子のPRにつながる。					
	② 空き店舗活用補助金交付件数	空き店舗を活用して新たな店舗が開店することにより地域の活性化につながる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	品	21	24	26	27
		実績値		21	25	26	25
		達成率		100.00	104.17	100.00	92.59
	②	目標値	件	12	12	7	7
		実績値		8	3	7	6
		達成率		66.67	25.00	100.00	85.71
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	22,379	14,139	12,057	147,698	
		人件費	7,920	5,720	6,160	33,000	
		合 計	30,299	19,859	18,217	180,698	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	22,379	14,139	12,057	77,621	
		人件費	7,920	5,720	6,160	33,000	
合 計		30,299	19,859	18,217	110,621		

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	商店街街路灯維持管理費補助事業				課名	商業観光課		
指標	商店街街路灯等維持管理費補助金を交付を受けた商業団体の数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	11	目標値	12	単位	数	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	11	達成率	91.67			予算額	1,189	1,320
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,109	1,320

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

商店街の街路灯は、にぎわいづくりだけでなく夜間の交通安全や犯罪防止にも貢献する公共性の高い施設である。会員の減少等により多くの商店会で街路灯にかかる費用が重い負担になっている中、本事業は重要である。

事務事業名	商業活性化策の推進				課名	商業観光課		
指標	事業推進計画に位置づけた事業の実施割合				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	1,109	4,840
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	1,022	4,840

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は「地域に密着した商業展開への支援」という施策の実現において効果的な事業であり、時流に応じた活性化策を打ち出していくために必要な事業である。

事務事業名	空き店舗活用補助事業				課名	商業観光課		
指標	制度の見直し進捗率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	2,144	1,760
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	結合	実績値	2,144	1,760

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業については、空き店舗の解消という商業活性化への直接的効果を発揮するもので貢献度はあったものと考えられる。創業支援補助金など類似の支援策などと整理を行い、今後は幅広な支援を行える新たな制度へと移行しさらに効果的なものとしていく。

事務事業名	我孫子市ふるさと産品育成事業				課名	商業観光課		
指標	「我孫子市ふるさと産品」推奨品の品数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	25	目標値	27	単位	品	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	25	達成率	92.59			予算額	400	1,320
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	400	1,320

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子市の顔としての商品となるふるさと産品に関する事業として、施策に対する貢献度は高い。

事務事業名	我孫子市プレミアム付商品券事業				課名	商業観光課		
指標	対象者が購入した商品券の使用実績率				政策・経常	■政策 □経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	99.3	達成率	99.30			予算額	142,856	23,760
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	その他	実績値	72,946	23,760

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

プレミアム付商品券の発行は、直接的に市民の消費を喚起し、事業者の売り上げの向上につながるものであり、施策への貢献度は高い。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
地域に密着した商業の活性化を進めるため、空き店舗の解消や街路灯維持への支援、ふるさと製品の育成など、商店や商店会への支援は必要である。	地域に密着した商業の活性化を進めるため、地元商店会を支援する施策は必要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
商店街街路灯等維持管理費補助事業においては、補助すべき商店会には交付することができ商店会活動への支援となった。商業活性化ビジョンにおいては、事業推進計画に基づいて「まちゼミ」や「おまつりサミット」などの取り組みが効果的に実施でき、地域間の交流も図ることができた。ふるさと産品育成事業においては、1件の新規登録があったが、製造事業者の廃業による2件の廃止があったため、残念ながら品数は減少した。空き店舗活用補助事業においては、制度の再検討を進め、翌年度からはさまざまな活性化策への幅広い支援が行えるよう新たな補助制度へと移行する運びとなった。	地域に密着した商業活性化を図るための取り組みとして行われた事業は概ね効果的に実施できたものとする。空き店舗活用補助事業については、制度の検証とともによりより支援策の検討を進めていたが、新たな補助の制度設計まで完了できたことは評価できる。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	商業団体の活動への支援	施策コード	21102	施策主管部課	環境経済部 商業観光課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	商業の振興			関係課	
	(3) 節の目的	地域に密着した商業の活性化をすすめるとともに、新たな商業展開を支援します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	商業の活性化を図るため、商工会や商店会などの商業団体が、市民、農業者などと連携しながら行う、地域に密着したイベントなどの活動を支援します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	商業団体と市民や農業者			
どういう状態に		相互の連携により、商業が活性化している				
(6) 施策実施上の課題と対応	商工会の活性化を図ること。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 商業団体のイベント数	イベントを実施することにより、商業者及びまちの活性化につながるため。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	件	9	9	9	9
		実績値		9	9	9	9
		達成率		100.00	100.00	100.00	100.00
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	13,760	13,760	13,760	13,760
		人件費	7,480	7,480	5,896	3,960
		合 計	21,240	21,240	19,656	17,720
	(10) 実績値 (千円)	事業費	13,760	13,760	13,760	13,760
		人件費	7,480	7,480	5,896	3,960
合 計		21,240	21,240	19,656	17,720	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	商工会育成事業				課名	商業観光課	
指標	我孫子市商工会への加入率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	49.3	目標値	50	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	47	達成率	94.00			予算額	12,160
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	12,160

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

全市的な商工業支援を行う商工会に対する補助事業であり、優先度、貢献度ともに高い。今後も継続して支援し、商工会及び加入している事業者を支えていく必要がある。

事務事業名	我孫子市産業まつり				課名	商業観光課	
指標	来場者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	15,000	目標値	16,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	15,000	達成率	93.75			予算額	1,600
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,600

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

例年多くの来場者があり、市の商業振興に寄与する事業であると考えられるため、イベント内容や運営体制を見直しながら、今後も引き続き推進していく。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
商業活動団体への支援は、地域の産業の活性化のために必要不可欠である。支援の方法については、その妥当性を検証しながら進めていく必要がある。	商業活動団体への支援は、地域の産業の活性化のために必要不可欠である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
市内商工業者を支える組織である我孫子市商工会への補助金については、経営改善普及事業や地域総合振興事業など商店会や商工業者への支援が行われ、有効であった。ただし、目標は十分達成できているものの、組織率が減少傾向にあるので、状況を見守っていく必要がある。 また、市内商工業のPRの場でもあり、市を代表するお祭りともなっている産業まつりについては、例年多くの来場者があり今後もさらに運営方法なども含めよりよい在り方を探っていきたい。	商業団体の活用への支援として、我孫子市商工会への補助金交付は不可欠であり、効果があったと考える。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	観光資源をいかした地域産業の活性化	施策コード	21201	施策主管部課	環境経済部 商業観光課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	観光の創出			関係課		
	(3) 節の目的	我孫子の資源をいかした魅力ある観光を創出し、地域産業の活性化をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	商業や農業などの地域産業の活性化を図るため、豊かな自然や農地、歴史・文化など既存の観光資源に加え、新たな観光資源の掘り起こしを行い、それらを積極的に活用していきます。また、我孫子市最大の観光資源である手賀沼周辺では、観光客をさらに呼び込み、もてなす環境づくりに取り組み、交流人口の拡大に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市内外の多くの人々				
		どういう状態に	我孫子で楽しみ、交流人口が拡大している				
(6) 施策実施上の課題と対応	観光・イベント情報の効果的なPR手法を研究し、実践する必要がある。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 観光による交流人口数（3イベントの合計）	イベント来場者数を指標をすることで、イベントのニーズ等検証できる。（3イベント：ジャパンバードフェスティバル・手賀沼花火大会・産業まつり）					
	② 観光による交流人口数（4施設の合計）	施設来場者を指標とすることにより交流人口の推移を確認し、交流人口の拡大を進めていく。（4施設：鳥の博物館・手賀沼親水広場・東我孫子カントリークラブ・我孫子ゴルフ倶楽部）					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	人	216,500	217,000	217,000	217,500
		実績値		206,500	200,000	216,000	205,000
		達成率		95.38	92.17	99.54	94.25
	②	目標値	人	202,000	210,000	450,000	450,000
		実績値		148,430	450,530	500,746	565,692
		達成率		73.48	214.54	111.28	125.71
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	24,862	23,888	26,508	26,132	
		人件費	22,000	22,880	24,640	25,960	
		合 計	46,862	46,768	51,148	52,092	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	24,862	23,888	26,508	25,800	
		人件費	22,000	22,880	24,640	25,960	
		合 計	46,862	46,768	51,148	51,760	

**施策を構成する事務事業**

事務事業名	手賀沼周遊レンタサイクル・ミニSL事業				課名	商業観光課		
指標	利用者数				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	30,141	目標値	35,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	26,749	達成率	76.43			予算額	11,725	3,080
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	11,552	3,080

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

第2期観光振興計画に掲げる紗育林ロードの検討や手賀沼遊歩道の魅力向上に直接的に資する事業である。老朽化した備品や設備の更新を進めるとともに、新型コロナウイルス感染症への対応策を施しながら継続して取り組んでいく。

事務事業名	手賀沼花火大会				課名	商業観光課		
指標	来場者数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	160,000	目標値	160,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	150,000	達成率	93.75			予算額	9,928	6,600
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	9,928	6,600

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市内外から多くの方が訪れる我孫子市最大級のイベントであり、我孫子市や手賀沼の知名度及びイメージ向上に大いに寄与するものであり、交流人口拡大が目標の本施策に貢献の大きい事業である。今後もより効果的な実施に取り組んでいく。

事務事業名	水生植物園の管理運営				課名	商業観光課		
指標	来場者数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	15,000	目標値	15,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	15,000	達成率	100.00			予算額	2,578	1,760
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	その他	実績値	2,574	1,760

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、我孫子市最大の観光資源である手賀沼の水辺景観の魅力向上に寄与するものであり、「観光資源をいかした地域産業の活性化」という施策への貢献は一定程度ある。今後は、周辺絵里との一体的、効果的な活用を進めていく。

事務事業名	TEGAスタンプラリー				課名	商業観光課		
指標	スタンプラリー応募人数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	2,490	目標値	2,200	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2,203	達成率	100.14			予算額	400	1,760
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	400	1,760

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本市が進めようとしている手賀沼・手賀川を生かした観光振興の取組みに合致することから、優先度が高く、効果的な事業である。

事務事業名	観光振興策の推進				課名	商業観光課		
指標	観光振興計画の年度ごとにおける推進進捗率				政策・経常	<input checked="" type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	888	7,040
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	765	7,040

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、我孫子市の観光振興策を推進するための基本となる計画であるため、施策への貢献度は高い。

事務事業名	マスコットキャラクターの活用				課名	商業観光課		
指標	キャラクターの着ぐるみ貸出件数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	79	目標値	130	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	74	達成率	56.92			予算額	133	2,640
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	101	2,640

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、地域産業の活性化の一助ともなっており、市のPRにおいてキャラクターは重要なツールとなっていることから、必要な事業である。

事務事業名	あびこカップまつり				課名	商業観光課		
指標	来場者数				政策・経常	<input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし		
現況値	27,000	目標値	16,500	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	27,000	達成率	163.64			予算額	480	3,080
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	480	3,080

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

多くの来場者があり、交流人口の拡大、観光振興・商業振興に寄与する事業であり、施策への貢献度は高く、維持すべき事業である。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
観光の創出のためには、手賀沼をはじめ市内各所での策を講じ、実行することは有効である。事業を遂行するためには、さらなる人員の強化が必要と考えられる。	観光の創出のためには、手賀沼をはじめ市内各所での策を講じ、実行することは有効である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
観光振興策を推進するため、第二期観光振興計画に基づき、各事業を推進した。特に、手賀沼周遊レンタサイクルについては2か年計画の1年目として車両更新を行ったほか、ミニSLに踏切制御機の修繕も実施し、老朽化した設備、備品を新たにした。また、手賀沼花火大会、あびこカップまつり、TEGAスタンプラリーなどに取り組んだことで、交流人口の拡大につながった。	観光振興策の多様な展開や水の館の運営などにより、年々交流人口は拡大してきている。手賀沼という最大の観光資源を活かすことが有効であり、それにかかわる事業の実施は効果的であった。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	観光やイベントなどの地域情報の発信	施策コード	21202	施策主管部課	環境経済部 商業観光課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	観光の創出			関係課		
	(3) 節の目的	我孫子の資源をいかした魅力ある観光を創出し、地域産業の活性化をすすめます。					
	(4) 施策の目的・展開方向	多くの方が我孫子で楽しめるよう、手賀沼、利根川などの豊かな自然や歴史・文化などの観光資源をはじめ、ジャパンバードフェスティバルなどのイベント情報や飲食店などの地域情報を、我孫子インフォメーションセンターを中心に、広報や市ウェブサイト、SNS等も活用して、絶えず市内外へ発信します。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市内外の人々				
どういう状態に		観光やイベントなどの地域情報が絶えず発信されている					
(6) 施策実施上の課題と対応	観光・イベント情報の効果的なPR手法を研究し、実践する必要がある。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① アビシルベの来館者数	来館者数を指標とすることで、PR効果が期待できる。					
	② アビシルベのHPアクセス数	アビシルベのHPのアクセス数は、どのくらい発信した情報がキャッチされているかが計れる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	人	31,500	31,600	41,850	41,875
		実績値		41,794	41,803	47,228	40,764
		達成率		132.68	132.29	112.85	97.35
	②	目標値	件	98,000	99,000	100,000	102,000
		実績値		134,000	93,579	84,065	109,057
		達成率		136.73	94.52	84.07	106.92
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	23,178	23,076	22,962	26,268
		人件費	1,320	2,200	2,464	2,200
		合 計	24,498	25,276	25,426	28,468
	(10) 実績値 (千円)	事業費	23,178	23,076	22,962	25,961
		人件費	1,320	2,200	2,464	2,200
合 計		24,498	25,276	25,426	28,161	

**施策を構成する事務事業**

事務事業名	我孫子インフォメーションセンター運営事業				課名	商業観光課	
指標	我孫子インフォメーションセンターの来館者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	40,228	目標値	41,850	単位	人	事業費(千円)	
実績値	40,764	達成率	97.41			予算額	26,268
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	25,961

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子インフォメーションセンター「アビシルベ」は、我孫子の魅力を発信する重要拠点であり、施策への貢献度は高い。今後も引き続き積極的な情報発信やイベントの開催を実施していく。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
観光やイベントなどの地域情報を発信するため、指定管理者であるインフォメーションセンターを置くことは非常に有効である。	観光やイベントなどの地域情報を発信するため、指定管理者であるインフォメーションセンターを置くことは非常に有効である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
我孫子インフォメーションセンターは、指定管理者として2期目の初年度を迎え、長期的な視野に立ってより有効な取り組みを実施するため5年契約としたところであり、業務の見直しを図り、効果的かつ合理的な運営が実施された。	我孫子の観光情報等の発信基地として、我孫子インフォメーションセンターの運営は非常に重要であり、単に来館される観光客を待つのではなく、自ら主体的に来館者を増やす取り組みを継続して実施することにより、有効な情報発信が行えたものと考えている。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	住工混在の解消に向けた企業の集団化	施策コード	21301	施策主管部課	環境経済部 企業立地推進課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	工業の振興			関係課	
	(3) 節の目的	企業間や研究機関との連携などにより地元企業の活性化をすすめるとともに、工場や作業場の集団化をすすめて、工業の振興をはかります。				
	(4) 施策の目的・展開方向	住宅地に点在している工場等の解消を図り、企業相互間の関連性を強め、相乗効果で企業が活性化できるよう、企業の集団化に取り組みます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	市内の工業、製造業系の企業			
どういう状態に		企業の集団化の機運が高まっている				
(6) 施策実施上の課題と対応	庁内推進体制の確立。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 集団化が完了した企業数	集団化が完了した企業数を指標とすることで、住工混在の解消と集団化事業の進捗状況を把握することができるため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	社	6	6	6	6
		実績値		0	0	0	0
		達成率		0.00	0.00	0.00	0.00
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	264	0	0	0
		人件費	9,064	0	0	0
		合 計	9,328	0	0	0
	(10) 実績値 (千円)	事業費	264	0	0	0
		人件費	9,064	0	0	0
合 計		9,328	0	0	0	

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	地元企業の活性化に向けた支援	施策コード	21302	施策主管部課	環境経済部 企業立地推進課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	工業の振興			関係課		
	(3) 節の目的	企業間や研究機関との連携などにより地元企業の活性化をすすめるとともに、工場や作業場の集団化をすすめて、工業の振興をはかります。					
	(4) 施策の目的・展開方向	地元企業が活性化するよう、融資制度の充実を図るなど、必要な支援策の整備に取り組むとともに、市内金融機関や千葉県産業振興センターなどの企業支援機関と連携し、中小企業の経営の安定化や設備の拡充を支援します。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市内中小企業				
		どういう状態に	経営の安定化や設備の拡充が進んでいる				
(6) 施策実施上の課題と対応	市内金融機関との連携強化。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 融資申込件数に対する貸付実行件数の割合	貸付実行件数の割合を指標とすることで、制度の活用状況を把握することができるため					
	② 設備の拡充に対する支援策の数	設備の拡充に対する支援策数を指標とすることによって、支援体制の強化を図るため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	%	90	90	90	100
		実績値		95.4	92.6	100	95.7
		達成率		106.00	102.89	111.11	95.70
	②	目標値	件	1	1	1	1
		実績値		1	1	1	1
		達成率		100.00	100.00	100.00	100.00
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	143,974	144,589	143,214	140,713	
		人件費	5,016	3,872	3,872	4,664	
		合 計	148,990	148,461	147,086	145,377	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	143,974	144,589	143,214	140,259	
		人件費	5,016	3,872	3,872	4,664	
		合 計	148,990	148,461	147,086	144,923	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	永年勤続表彰				課名	企業立地推進課		
指標	表彰者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	2	目標値	4	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	2	達成率	50.00			予算額	1	352
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1	352

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

施策に貢献しており、今後も現状継続していく。

事務事業名	中小企業への資金融資				課名	企業立地推進課		
指標	利子補給件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	290	目標値	310	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	282	達成率	90.97			予算額	139,148	3,256
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	138,984	3,256

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

中小企業の運転及び設備資金における事業資金融資の必要が高く施策に貢献している。

事務事業名	中小企業退職金共済金補助金				課名	企業立地推進課		
指標	補助対象者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	83	目標値	85	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	85	達成率	100.00			予算額	1,564	1,056
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,274	1,056

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

中小企業で働く従業員及び事業者を支援するうえで重要な施策であり、貢献度は高い。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
融資制度の充実を図り、地元企業の支援を行うことで、経営の安定化等を図るために必要である。	上位施策の目標達成のため、効果的、効率的な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
施策の目的である地元起業の活性化を図るためには、融資制度の充実が欠かせないものである。今後も制度の周知及び金融機関や関係機関との連携強化を図る必要がある。	地元産業の活性化を図るためには、既存企業への支援も必要であり、施策の目的を達成するために有効な事業である
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	新たな企業立地や起業・創業の支援	施策コード	21401	施策主管部課	環境経済部 企業立地推進課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	新たな産業の振興と雇用の安定・創出			関係課		
	(3) 節の目的	新たな企業の進出や起業を支援することで、まちに活力を生み出す産業振興をはかります。これにより、市内に働ける場をつくりだします。					
	(4) 施策の目的・展開方向	我孫子市企業立地方針に基づいた新たな企業の立地支援策や企業立地を支援する体制を整備して、まちに活力を生み出す産業振興を進めます。また、市内での多様な主体から生まれる起業や事業者による創業への相談体制の充実を図り、新たな産業の育成に努めます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市内外の企業				
どういう状態に		新たな企業の進出や起業・創業しやすい環境が整備されている					
(6) 施策実施上の課題と対応	制度のPRを徹底する。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 新たな企業の立地支援策の策定	支援策の策定件数を指標とすることによって、支援体制の強化を図るため					
	② 起業・創業の累計件数	累計件数を指標とすることによって、創業に対する支援や相談体制の充実を図るため					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	件	1	1	1	1
		実績値		0	0	0	0
		達成率		0.00	0.00	0.00	0.00
	②	目標値	件	10	15	20	25
		実績値		9	18	23	29
		達成率		90.00	120.00	115.00	116.00
③	目標値						
	実績値						
	達成率						
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	5,454	11,754	6,918	4,926	
		人件費	11,440	18,480	17,600	17,424	
		合 計	16,894	30,234	24,518	22,350	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	5,454	11,754	6,918	4,638	
		人件費	11,440	18,480	17,600	17,424	
合 計		16,894	30,234	24,518	22,062		

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	企業が進出・操業しやすい環境づくり（住工混在の解消、企業が進出				課名	企業立地推進課	
指標	企業立地方針の見直し策定の進捗状況				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	263

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

我孫子市が持続可能なまちとして発展を遂げていくためには、新たな産業用地を創出するため、本事業の優先度は高い。

事務事業名	起業・創業の支援				課名	企業立地推進課	
指標	起業・創業した件数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	5	目標値	10	単位	件	事業費(千円)	
実績値	6	達成率	60.00			正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	4,375

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

まちに活力を生み出す新たな産業の育成には、起業・創業支援が必要不可欠な事業である。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
新たな企業の立地・住工混在の解消や創業に対する支援は、まさに活力を生み出すためには必要であることから、環境の整備や効果的な支援策の検討を行う。	上位施策の目標達成のため、効果的、効率的な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
企業立地支援施策は、我孫子市が自立し持続的に発展するために重要であり、今後は、新たな「企業立地方針」の考え方に基づき事業を進めていく必要がある。また、起業・創業支援においても関連機関と連携を図り、支援体制を充実させていく必要がある。	施策の目的を達成するために有効な事業である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	就労支援の充実	施策コード	21402	施策主管部課	環境経済部 企業立地推進課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	新たな産業の振興と雇用の安定・創出			関係課	
	(3) 節の目的	新たな企業の進出や起業を支援することで、まちに活力を生み出す産業振興をはかります。これにより、市内に働ける場をつくりだします。				
	(4) 施策の目的・展開方向	雇用の安定を図るため、ハローワークや千葉県と連携しながら、求職者を対象とした我孫子市地域職業相談室による雇用相談を充実するとともに、子育て中の母親や中高年者を対象とした千葉県ジョブサポートセンターによる再就職支援セミナーを開催するなど、就労支援の充実を図ります。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	市内や近隣の求職者			
どういう状態に		雇用機会が拡大されている				
(6) 施策実施上の課題と対応	地域職業相談室について、PRを徹底する。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 地域職業相談室の紹介者のうちの実際の就職者	就職者数を指標とすることで、就職状況を把握することができる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値		15	15	15	15
		実績値	%	15.8	16.6	18.6	18.4
		達成率		105.33	110.67	124.00	122.67
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	8,472	9,547	9,040	8,856
		人件費	3,960	4,488	5,368	5,016
		合 計	12,432	14,035	14,408	13,872
	(10) 実績値 (千円)	事業費	8,472	9,547	9,040	8,697
		人件費	3,960	4,488	5,368	5,016
合 計		12,432	14,035	14,408	13,713	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	地域職業相談室の運営				課名	企業立地推進課		
指標	年間相談者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	4,581	目標値	4,800	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	3,755	達成率	78.23			予算額	7,543	2,112
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	7,483	2,112

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

ハローワーク松戸との連携を図り、雇用の安定、市民の就労支援に貢献している。

事務事業名	就労支援事業				課名	企業立地推進課		
指標	セミナーの開催数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	9	目標値	9	単位	回	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	10	達成率	111.11			予算額	1,313	2,904
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,214	2,904

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

雇用の安定、市民の就労支援に貢献している。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
雇用の安定及び創出を図るためには、雇用相談や幅広い年齢層を対象としたセミナーの開催等が必要である。	上位施策の目標達成のため、効果的、効率的な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
雇用の安定化を図るためには、就労支援事業は今後も必要な事業であり、ハローワークや県との連携を強化し、雇用に関する相談体制やセミナーの開催など充実させていく。	雇用の安定と促進を図るという目的を達成するためには、有効な事業である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	農業の生産性の維持・向上	施策コード	22101	施策主管部課	環境経済部 農政課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	農業への支援と農業の持つ多面的機能の保全			関係課	農業委員会事務局
	(3) 節の目的	農業の生産性を高めるとともに、農産物のブランド化や加工、販売の工夫など、付加価値の高い農業が展開できるよう支援し、活力ある農業をめざします。また、農業支援をとおして、農業の持つ多面的機能を守っていきます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	農業の生産性の維持・向上を図るため、農地中間管理機構等と連携した農用地の利用集積、農業用施設の適切な維持管理と整備・更新、近代的な農業用機械や施設設備の導入支援など、農業生産基盤と農業経営基盤の維持強化に向けた取り組みを進めます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	農業生産者			
どういう状態に		農業生産基盤と農業経営基盤が維持・強化されている。				
(6) 施策実施上の課題と対応	農業用排水施設等の土地改良施設については老朽化が進んでおり、計画的な更新が必要である。県、土地改良区及び関係市と連携し、計画的な更新のための事業化を協議していくとともに、施設の機能を損なわないための適切な維持管理が必要である。また、農業経営基盤の強化のためには、担い手農家等に対する農業経営規模の拡大を進めるための支援を積極的に行っていくことが求められる。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 農地利用集積面積（累計）	事業の効果が明確に計測できる					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	ha	162.2	168.4	245.5	255.5
		実績値		206.1	235.5	255.4	277.9
		達成率		127.07	139.85	104.03	108.77
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	59,667	57,665	98,429	236,813
		人件費	23,848	25,344	22,704	22,704
		合 計	83,515	83,009	121,133	259,517
	(10) 実績値 (千円)	事業費	59,667	57,665	98,429	106,823
		人件費	23,848	25,344	22,704	22,704
合 計		83,515	83,009	121,133	129,527	

**施策を構成する事務事業**

事務事業名	農業振興地域整備計画の管理				課名	農政課	
指標	変更相談・協議案件の処理率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	198
						実績値	84
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

現状どおり推進していく

事務事業名	植物防疫業務				課名	農政課	
指標	水稲の10a当たり平均収量				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	516	目標値	515	単位	kg	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	516	達成率	100.19				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	5,167
						実績値	4,427
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

現状どおり推進する

事務事業名	水田農業構造改革対策事業				課名	農政課	
指標	生産数量目標達成率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	93	目標値	60	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	93	達成率	155.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	21,102
						実績値	17,248
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

新規需要米に取り組む人数・面積の進捗状況が一時期に比べ伸びていないため、今後一層の推進活動が必要となる。

事務事業名	淡水魚かい類種苗放流事業への支援				課名	農政課	
指標	漁獲高				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	0	単位	kg	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	0	達成率	0				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	100
						実績値	50
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

淡水魚かい類の増殖率低下を防止するためには、事業の継続が必要であることから、現状どおりに推進する。なお、国による出荷制限等により漁獲制限を受けているもとで、種苗放流のあり方を含めて、今後県と連携し支援方法を検討する必要がある。

事務事業名	農業用排水施設維持管理				課名	農政課	
指標	負担金支出率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	146,610
						実績値	69,567
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

農業用排水路は、農地と都市の水害を防ぐうえで重要な機能を有していることから、今後も施設の適切な維持管理が必要である。

事務事業名	農道整備				課名	農政課	
指標	負担金支出率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	100	目標値	100	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	6,313
						実績値	6,300
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

農業用道路であっても一般車両が多く乗り入れているため、道路は破損し、収穫した野菜等の荷傷みの原因になっているため、引き続き維持管理者と連携して維持保全を行う必要がある。

事務事業名	農業資金利子補給				課名	農政課	
指標	利子補給件数/申込件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	0	目標値	100	単位		事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	100	達成率	100.00				
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	46,376
						実績値	23
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

本事業は、経営規模の拡大や経営改善のために融資を受けた農業者に対して利子補給を行うことで、農業者の負担を軽減し、その育成に大きな効果があるため、今後も継続して推進していく必要がある。

事務事業名	農地集積推進事業				課名	農政課	
指標	担い手農家への農用地集積				政策・経常	□政策 ■経常 □なし	
現況値	235.5	目標値	245.5	単位	ha	事業費(千円)	正職員人件費(千円)
実績値	277.9	達成率	113.20				
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	予算額	8,061
						実績値	7,318
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)							

本事業は、担い手農家の規模拡大や農業経営の安定化を支援するため農地利用集積円滑化事業を通じ、農地の権利移動を促進する事業である。引き続き、農業委員会をはじめ、関係機関と連携し事業を推進していくことが必要である。

### 施策を構成する事務事業

事務事業名 遊休農地対策事業						課名	農政課	
指標	遊休農地等の復元面積				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	50	目標値	100	単位	a	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	50	達成率	50.00			予算額	116	792
事務事業の施策への貢献度						○高い ●普通 ○低い	評価	現状
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
本事業は遊休農地(耕作放棄地)を解消し、担い手農家等への利用集積を通じ、農地の有効活用を促進するものである。また、農地農村環境の悪化を防ぐためにも重要な事業であり、今後も必要があれば本事業を活用していくべきである。								
事務事業名 鶏伝染病対策事業						課名	農政課	
指標	補助金支出件数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	2	目標値	2	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	1	達成率	50.00			予算額	506	704
事務事業の施策への貢献度						○高い ●普通 ○低い	評価	現状
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
鳥インフルエンザは現在でも発生する可能性があるため、最終的にワクチン接種費及び衛生管理費を主な対象として支援し、伝染病の発生及び蔓延の防止を進めていく。								
事務事業名 幹線排水路護岸改修(利根地区)						課名	農政課	
指標	負担金支出済率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	0	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	90	達成率	90.00			予算額	1,000	1,144
事務事業の施策への貢献度						○高い ●普通 ○低い	評価	現状
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
今後も継続して関係機関と連携し、事業を進めていく。								
事務事業名 手賀沼地域農業農村整備事業						課名	農政課	
指標	負担金支出済率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	100	目標値	100	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	100	達成率	100.00			予算額	30	3,080
事務事業の施策への貢献度						○高い ●普通 ○低い	評価	現状
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
国営手賀沼土地改良事業で整備された農業用排水路等は経年劣化をしており、放置をすれば甚大な被害が想定されるため、今後も継続して事業を進めていく必要がある。								
事務事業名 農地基本台帳の整備						課名	農業委員会事務局	
指標	期限内回収率				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	70	目標値	75	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	75	達成率	100.00			予算額	1,234	3,520
事務事業の施策への貢献度						●高い ○普通 ○低い	評価	現状
事務事業のあり方(事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など)								
法令により定められた事業であり、今後の農業施策に必要な情報収集である。								

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	



2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	農業の付加価値を高める取り組みへの支援と担い手の育成	施策コード	22102	施策主管部課	環境経済部 農政課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	農業への支援と農業の持つ多面的機能の保全			関係課	農業委員会事務局
	(3) 節の目的	農業の生産性を高めるとともに、農産物のブランド化や加工、販売の工夫など、付加価値の高い農業が展開できるよう支援し、活力ある農業をめざします。また、農業支援をとおして、農業の持つ多面的機能を守っていきます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	生産者が意欲を持って農業経営に取り組めるよう、新品種・新品目・高品質栽培の導入などによる農産物のブランド化や加工品の開発、ネット販売や詰合せ販売など消費者ニーズに応えた販売方法の導入、大学や商工業者、NPO等とも連携した事業の展開など、農業の付加価値を高めるためのさまざまな取り組みを支援します。また、我孫子産の農産物や加工品等を市内外に広くPRし、販路の拡充を進めます。さらに、将来の農業経営に夢と希望が持てるよう、先進事例や成功事例、各種支援制度などの情報提供を積極的に行うことにより、事業展開のきっかけづくりをサポートし、農業の多様な担い手を育成します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	農業生産者			
どういう状態に		農業の付加価値が高まり、生産者が意欲を持って農業経営に取り組んでいる。				
(6) 施策実施上の課題と対応	我孫子市農業は、従来、低湿地帯水田での水稲作が中心であり、畑作については、行商などの伝統もあることから小量多品目栽培が特徴となっている。したがって、産地形成がなされておらず、特産品と言われるものもない状況から、ブランド品開発等は今後の課題である。農業の付加価値を高めるためのさまざまな取り組みを支援する中で、そうした農業に取り組む意欲ある農業者を育成するとともに我孫子産の農産物や加工品等を市内外に広くPR、活力ある農業を育てていくことが求められる。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 認定農業者の人数	事業の効果が明確に計測できる					
	② 新規就農者の人数	事業の効果が明確に計測できる					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	人	36	37	38	39
		実績値		38	40	42	42
		達成率		105.56	108.11	110.53	107.69
	②	目標値	人	23	24	25	26
		実績値		24	24	24	25
		達成率		104.35	100.00	96.00	96.15
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	37,433	30,742	21,361	16,243
		人件費	9,152	9,064	9,064	9,064
		合 計	46,585	39,806	30,425	25,307
	(10) 実績値 (千円)	事業費	37,433	30,742	21,361	11,734
		人件費	9,152	9,064	9,064	9,064
合 計		46,585	39,806	30,425	20,798	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名 認定農業者施設整備事業費補助事業					課名 農政課				
指標 認定農業者数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	42	目標値	44	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	42	達成率	95.45			予算額	4,000	3,520	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	2,790	3,520

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、本市における次代の農業の担い手育成にあたり重要な事業であり、今後も継続して当事業を推進していく必要がある。

事務事業名 県営担い手育成基盤整備事業					課名 農政課				
指標 負担金支出済率					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	94.6	目標値	96.8	単位	%	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	96.8	達成率	100.00			予算額	5,048	528	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	5,048	528

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

協定に基づき、引き続き事業を推進する。

事務事業名 新規就農支援事業					課名 農政課				
指標 新規就農者数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	21	目標値	22	単位	経営体	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	20	達成率	90.91			予算額	6,695	3,696	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	3,883	3,696

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は次世代の担い手を確保・育成していく上で重要な事業であり、農業委員会や東葛飾農業事務所等と連携し、引き続き事業の推進を行なっていくことが必要である。

事務事業名 6次産業化推進事業					課名 農政課				
指標 農産物の加工施設を有する農業者数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input checked="" type="checkbox"/> 経常 <input type="checkbox"/> なし				
現況値	5	目標値	6	単位	件	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	5	達成率	83.33			予算額	500	1,144	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	現状	実績値	13	1,144

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

本事業は、農業の付加価値を高めるという施策を実現するため必要な事業であることから今後も引き続き推進していく必要がある。

事務事業名 農家の婚活の支援					課名 農業委員会事務局				
指標 成婚もしくはおつきあいに発展した組数					政策・経常 <input type="checkbox"/> 政策 <input type="checkbox"/> 経常 <input checked="" type="checkbox"/> なし				
現況値	0	目標値	1	単位	組	事業費(千円)	正職員人件費(千円)		
実績値	0	達成率	0.00			予算額	0	176	
事務事業の施策への貢献度 <input type="radio"/> 高い <input checked="" type="radio"/> 普通 <input type="radio"/> 低い					評価	結合	実績値	0	176

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

過去2回、農家の独身者を対象とした婚活イベントを実施したが、ニーズが低く参加者が想定より少なかった。イベント内容の検討が必要。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
市内農家は概して小規模農家が大勢を占め、水稲作を軸とした収益性の低い農家の特徴から、担い手農家の育成が困難な状況である。認定農業者等の担い手農家の育成は、将来の我孫子市農業のカギを握るものであり、系統的に育成することが求められる。また、同時に、農家後継者、新規就農者、法人参入など多様な担い手の育成が必要である。	農家の高齢化・担い手不足は深刻な課題であり、認定農業者等の担い手農家の確保は急務である。また、農業は食糧の安定的な供給・自然環境などの環境保全機能といった公益的な機能を持つことから将来にわたる担い手農家の育成確保は極めて重要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
農業従事者の高齢化・後継者不足は深刻度を増しており、次代の担い手を確保し、農地の遊休化防止・遊休農地の有効活用を進めていくためには、付加価値を高めた活力ある農業を育成・支援するなど、県、農業委員会、JA、土地改良区等と連携して計画的に多様な農業経営体を確保・育成する必要がある。	担い手農家の確保は急務である。また、農業は食糧の安定的な供給・自然環境などの環境保全機能といった公益的な機能を持つことから将来にわたる担い手農家の育成確保は極めて重要である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	環境保全型農業の普及・支援	施策コード	22103	施策主管部課	環境経済部 農政課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	農業への支援と農業の持つ多面的機能の保全			関係課	
	(3) 節の目的	農業の生産性を高めるとともに、農産物のブランド化や加工、販売の工夫など、付加価値の高い農業が展開できるよう支援し、活力ある農業をめざします。また、農業支援をとおして、農業の持つ多面的機能を守っていきます。				
	(4) 施策の目的・展開方向	農業が持つ水源のかん養や洪水の防止、自然環境の保全、良好な景観の形成といった多面的機能を維持するため、こうした機能について市民の理解を深めるとともに、生産者と連携しながら環境保全型農業の普及・促進を図り、環境にやさしい農業に取り組みます。また、エコ農産物の栽培・供給に取り組む農家を積極的に支援し、育成します。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	環境保全型農業			
どういう状態に		普及している				
(6) 施策実施上の課題と対応	我孫子市においては、個々の農家では化学合成農薬や化学肥料を使用しないか又は使用を抑えた栽培に取り組んでいる者がいても、あえて有機JASやちばエコ農産物の認証を受けて販路開拓する農家は少ない。しかし、環境保全型の農業を普及することは、地産地消を推進し安全安心な農産物を消費者市民に提供していくうえで重要である。また、環境への寄与も大きい。よって、我孫子市としてのエコ農業推進計画を策定するとともに、県やJA等と連携して有機栽培等の普及に努めるものとする。					

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 「ちばエコ農産物」栽培の認証を受けた農業者数	事業の効果を明確に計測できる					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	人	47	49	51	52
		実績値		48	44	47	46
		達成率		102.13	89.80	92.16	88.46
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	12,475	15,496	16,699	15,420
		人件費	4,048	4,048	2,728	3,608
		合 計	16,523	19,544	19,427	19,028
	(10) 実績値 (千円)	事業費	12,475	15,496	16,699	14,258
		人件費	4,048	4,048	2,728	3,608
合 計		16,523	19,544	19,427	17,866	

**施策を構成する事務事業**

事務事業名	有機栽培等農業者支援事業				課名	農政課	
指標	有機栽培等農業に取り組む経営体数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	47	目標値	51	単位	経営体	事業費(千円)	
実績値	46	達成率	90.20			予算額	15,420
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	14,258

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

食の安全と自然環境への負荷を軽減する環境保全型農業の普及・推進に必要不可欠な事業となっていることから事業の優先度は高く、今後も引き続き現状どおり事業を推進していく。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
有機栽培や特別栽培は、多くの手間と経費を要するため、高齢化と資材等負担で多くの困難を抱える農家に広く普及することは、容易ではない。しかし、市が進める地産地消の推進と合わせ、栽培方法の支援や経費負担軽減支援を行うことで、裾野を広げていくことが可能である。	環境保全型農業の普及は、地産地消推進の要となるものであり、広く普及することが重要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
有機栽培や特別栽培は、多くの手間と経費を要するため、高齢化と資材等負担で多くの困難を抱える農家に広く普及することは容易ではない。しかし、市が進める地産地消の推進と合わせ、栽培方法の支援や経費負担軽減支援を行うことで、裾野を広げていくことが可能である。引き続き「あびこエコ農業推進基本計画」に基づく支援を展開し、普及を促進する必要がある。	環境保全型農業の普及は、地産地消推進の要となるものであり、広く普及を促進することが重要である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報						
施策内容	(1) 施策名	地産地消の推進と農によるにぎわいづくり	施策コード	22201	施策主管部課	環境経済部 農政課
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	地域と連携した農業の育成			関係課	
	(3) 節の目的	生産者と消費者がお互いに信頼し協力し合うことで、品質と安全性の高い地元農産物が地元を中心に消費される農業を確立します。				
	(4) 施策の目的・展開方向	地元農産物を地域内で消費する地産地消を推進するとともに、市の交流人口を増加させる役割を担う農業拠点施設を整備し、消費者ニーズに対応した安全・安心な農産物を供給します。また、食育を推進するため、学校給食などへの地元農産物の供給や、食と農に関する情報提供・人材育成などに積極的に取り組みます。				
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度			
		何（誰）を対象に	農産物			
どういう状態に		地産地消が進んでいる				
(6) 施策実施上の課題と対応	地域と連携した農業の育成のためには、生産者と消費者がお互いに信頼し協力し合うことが重要であり課題である。あびこ型「地産地消」推進協議会と連携を図りながら信頼と協力関係を築いていくことが求められる。					

施策指標	(7) 指標		指標の設定理由				
	① あびこ型「地産地消」推進協議会会員数		事業の効果が明確に計測できる。				
	② 手賀沼親水広場・農業拠点施設の年間延利用者数		事業の効果が明確に計測できる。				
	③ 学校給食への地元野菜供給量		事業の効果が明確に計測できる。				
	(8) 指標の目標値と実績値		単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	①	目標値	人	200	205	210	215
		実績値		173	153	152	153
		達成率		86.50	74.63	72.38	71.16
	②	目標値	人	0	250,000	300,000	350,000
		実績値		0	304,820	467,551	466,708
達成率		0		121.93	155.85	133.35	
③	目標値	kg	19,000	19,000	19,000	19,000	
	実績値		16,533	15,980	15,262	10,844	
	達成率		87.02	84.11	80.33	57.07	

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	235,821	12,331	5,264	6,749
		人件費	12,056	12,056	13,200	12,320
		合 計	247,877	24,387	18,464	19,069
	(10) 実績値 (千円)	事業費	235,821	12,331	5,264	6,706
		人件費	12,056	12,056	13,200	12,320
合 計		247,877	24,387	18,464	19,026	

**施策を構成する事務事業**

事務事業名	あびこ型「地産地消」推進協議会の充実				課名	農政課		
指標	あびこ型「地産地消」推進協議会の会員数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	152	目標値	160	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	153	達成率	95.63			予算額	3,200	3,608
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,200	3,608

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

現状どおり引き続き実施していく。

事務事業名	農業拠点施設維持管理事業				課名	農政課		
指標	農業拠点施設の年間延べ利用者数				政策・経常	■政策 ■経常 □なし		
現況値	184,218	目標値	200,000	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	181,757	達成率	90.88			予算額	3,549	8,712
事務事業の施策への貢献度	●高い ○普通 ○低い			評価	現状	実績値	3,506	8,712

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

引き続き現状どおり推進していく。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
あびこ型「地産地消」推進協議会の活動を強化し、学校給食への地場産野菜の供給拡大、消費者・農家の交流拡大など、食育推進とともに、消費者・農家の信頼関係の構築を行っていくことが重要である。また、農業拠点施設の運営を通し、農業者の所得向上と消費者ニーズに対応した安全・安心な農産物を供給していくことが必要である。	農産物の地産地消を進めることは、消費者ニーズに応えた安全安心な農産物を消費者市民に提供し、食育推進にもつながる重要な事業であり、積極的に取り組むことが必要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
あびこ型「地産地消」推進協議会の活動を強化し、学校給食への地場産野菜の供給拡大、消費者・農家の交流拡大など、食育事業の推進を図った。今後、地産地消をさらに進めていくためには、消費者・農家の信頼関係を一層深めていくことが重要である。	農産物の地産地消を進めることは、消費者ニーズに応えた安全安心な農産物を消費者・市民に提供し、食育推進にもつながる重要な事業であり、積極的に取り組むことが必要である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
→	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	農業とのふれあいや生産者との交流の促進	施策コード	22202	施策主管部課	環境経済部 農政課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	地域と連携した農業の育成			関係課		
	(3) 節の目的	生産者と消費者がお互いに信頼し協力し合うことで、品質と安全性の高い地元農産物が地元を中心に消費される農業を確立します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	多くの人が、生産者と身近な場で交流し、農業に親しみ、農業を楽しみ、農業を育むことができるよう、市民農園や農家開設型ふれあい体験農園などの農業体験の場の提供を進めます。また、農業拠点施設を活用し、農業まつりなどの生産者との交流の機会や農業に関するさまざまな情報を積極的に提供します。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	市民				
どういう状態に		農業とふれあい、生産者との交流が進んでいる。					
(6) 施策実施上の課題と対応	市民が身近で農業を理解するためには、消費者・市民が直接農産物栽培に取り組み、農家とも直接交流することが重要である。そのための場として、市民農園などの体験ほ場や農家と交流できるイベントなどの機会を提供する必要がある。						

施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 農家開設型ふれあい農園の利用者数	事業の効果が明確に計測できる。					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	人	540	560	580	600
		実績値		535	547	508	504
		達成率		99.07	97.68	87.59	84.00
	②	目標値					
		実績値					
達成率							
③	目標値						
	実績値						
	達成率						

財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
	(9) 予算 (千円)	事業費	7,605	6,289	5,910	2,612
		人件費	3,344	3,344	3,344	3,344
		合 計	10,949	9,633	9,254	5,956
	(10) 実績値 (千円)	事業費	7,605	6,289	5,910	1,998
		人件費	3,344	3,344	3,344	3,344
合 計		10,949	9,633	9,254	5,342	

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	市民農園維持管理事業				課名	農政課		
指標	市民農園利用区画数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	113	目標値	120	単位	区画	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	109	達成率	90.83			予算額	1,562	1,936
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	1,516	1,936

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

日秀新田市民農園は市民の健康づくり等の場として重要な機能を有しているため、引き続き当該事業を推進していく。

事務事業名	農家開設型ふれあい農園事業				課名	農政課		
指標	農園利用者数				政策・経常	□政策 ■経常 □なし		
現況値	550	目標値	560	単位	人	事業費(千円)	正職員人件費(千円)	
実績値	504	達成率	90.00			予算額	1,050	1,408
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	実績値	482	1,408

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

市民が身近で農業を体験できる場を多く確保するために、今後も引き続き農家開設型ふれあい農園の新規開設・維持管理に関する支援を行なっていくことが必要である。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

### 事前評価

施策主管課長	施策主管部長
農家開設型ふれあい体験農園を市民に利用してもらうとともに、農業まつりなどのイベントを積極的に開催することで、消費者・市民と農家がふれあい、交流できる場を提供していくことが必要である。	我孫子市の農業は単なる農産物の生産機能だけでなく、環境その他について市民にとっての多面的機能を有しており、大切にしていかなければならない市全体としての財産である。こうしたことは農業とのふれあいや交流を通じて、市民全体に理解されていくものであることから、積極的にふれあいや交流の場を設けていくことが重要である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	



### 事後評価

施策主管課長	施策主管部長
市民農園と農家開設型ふれあい体験農園の利用促進を図った。また、農業まつりなどのイベントを積極的に開催し、消費者・市民と農家がふれあい、交流できる場を提供した。高野山新田地区利用構想を踏まえた旧水生植物園を含めた市民農園跡地ゾーンを地権者等と今後の利活用を検討することとした。	我孫子市の農業は単なる農産物の生産機能だけでなく、環境その他について市民にとっての多面的機能を有しており、大切にしていかなければならない市全体としての財産である。こうしたことは農業とのふれあいや交流を通じて、市民全体に理解されていくものであることから、積極的にふれあいや交流の場を設けていくことが重要である。
改善検討	○要 ●不要
施策展開の改善点と展開方向	
農業拠点施設を活用した生産者との交流の機会を提供していく。また、策定した高野山新田地区利用構想を基に周辺の交流人口の拡大を図る必要がある。	



### 2次評価

行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
➡	

施策評価表（平成31年度）

1. 施策評価を行うための基本情報							
施策内容	(1) 施策名	手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援	施策コード	22203	施策主管部課	環境経済部 農政課	
	(2) 上位の政策 (基本計画の節)	地域と連携した農業の育成			関係課		
	(3) 節の目的	生産者と消費者がお互いに信頼し協力し合うことで、品質と安全性の高い地元農産物が地元を中心に消費される農業を確立します。					
	(4) 施策の目的・展開方向	手賀沼沿いの根戸新田地区、高野山新田・我孫子新田地区・岡発戸新田地区の農地について、観光振興施策や環境啓発施策、農業拠点施設におけるさまざまな事業との連携による活用を図るとともに、農地を耕作する農業者への支援を行い、手賀沼や斜面林等と一体となった豊かな自然環境を保全していきます。					
	(5) 施策の目標	いつまでに	令和 3年度				
		何（誰）を対象に	根戸新田地区、高野山新田・我孫子新田地区・岡発戸新田地区の農地				
どういう状態に		保全・活用が図られている					
(6) 施策実施上の課題と対応	手賀沼沿いの根戸新田地区、高野山新田・我孫子新田地区・岡発戸新田地区の農地については、手賀沼や斜面林と一体となった豊かな自然環境を保つ上で重要な役割を担っており、当該農地の保全を行っていくためには、その農地を耕作する農業者への支援を行っていくことが必要である。						
施策指標	(7) 指標	指標の設定理由					
	① 手賀沼沿い農地の保全・活用面積	事業の効果が明確に計測できる					
	(8) 指標の目標値と実績値	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	①	目標値	ha	33	34	30.2	30.7
		実績値		29.5	30.1	29.8	30
		達成率		89.39	88.53	98.68	97.72
	②	目標値					
		実績値					
		達成率					
	③	目標値					
実績値							
達成率							
財源	年 度		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	
	(9) 予算 (千円)	事業費	110,716	46,636	40,162	48,921	
		人件費	12,848	13,112	10,736	10,736	
		合 計	123,564	59,748	50,898	59,657	
	(10) 実績値 (千円)	事業費	110,716	46,636	40,162	17,216	
		人件費	12,848	13,112	10,736	10,736	
合 計		123,564	59,748	50,898	27,952		

### 施策を構成する事務事業

事務事業名	手賀沼沿い農地の保全活用と農業者支援				課名	農政課	
指標	手賀沼沿い農地活用計画に沿った農地活用面積				政策・経常	■政策 ■経常 □なし	
現況値	301,227	目標値	302,000	単位	m <sup>2</sup>	事業費(千円)	
実績値	299,982	達成率	99.33			正職員人件費(千円)	
事務事業の施策への貢献度	○高い ●普通 ○低い			評価	現状	予算額	48,921
						実績値	17,216

事務事業のあり方（事業の優先度、事業の縮小や拡充等、新たな事業展開など）

今後も手賀沼沿い農地活用計画に基づき、農地の保全活用と農業者支援を進め、我孫子市手賀沼沿い農用地等活用事業補助金交付要綱に基づく支援の継続及び排水対策事業（工事）を実施していく。

## 2. 施策のチェック (DO+CHECK)

施策チェック項目	①節の目的達成に貢献しているか(施策が効果的な手段になっているか)
	②社会状況、環境変化や市民ニーズに適合しているか(施策展開の見直しや新たな施策の展開など)
	③施策目標の設定は妥当か
	④施策を推進するために有効な事業を実施しているか
	⑤市民との協働は考えられないか
	⑥事業への財源配分は適切か
	⑦事業への人員配置は適切か

事前評価	
施策主管課長	施策主管部長
手賀沼沿い農地活用計画は、農業者が主体的に農地活用に取り組む、そこに都市住民が参画することにより農を共有し、都市と農業が共生するなかで、新たな農業形態を構築するものである。そのためには先ず、農業者が農地活用に取り組める環境を整えることが大切であり、農地活用へのきっかけや動機づくりとして事業支援と事業費支援は必要不可欠なものである。	手賀沼沿い農地活用に当たっての農業者への事業支援と事業費支援は、農業者に経済面をはじめ、事業実施に際しての安心感をもたらす、農地活用の取り組みへの動機づけや意欲の向上が見込まれることから、手賀沼沿い農地活用計画を推進する上で効果的な施策である。
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	

事後評価	
施策主管課長	施策主管部長
手賀沼沿いの農地は、ほ場整備も用排水整備も十分行われておらず、後継者も十分でないことから将来にわたり農業を持続させていくことは難しい。よって、「手賀沼沿い農地活用計画」をもとに、農地活用の支援や排水対策事業を適切に進めていく必要がある。	手賀沼沿いの農地は、ほ場整備も用排水整備も十分行われておらず、後継者も十分でないことから将来にわたり農業を持続させていくことは難しい。よって、「手賀沼沿い農地活用計画」をもとに、農地活用の支援や排水対策事業を適切に進めていく必要がある。
改善検討	
○要 ●不要	
施策展開の改善点と展開方向	
→	

2次評価	
行政評価委員会	施策展開の改善点と展開方向
→	